

28. 瀬戸内地域での古民家活用ビジネスの展開支援

タイトル	せとうちDMOによる、瀬戸内全域で古民家活用ビジネス支援を展開
銀行名	阿波銀行
取組みに至った経緯	<p>・(株)ちいおりアライアンス（関連会社特定非営利活動法人ちいおりトラスト含む）は、日本の原風景を活かしつつ、歴史的文化的に価値の高い空き家の古民家を行政と連携して改修し、空き家問題を解消するとともに観光需要の創造に取り組んでいる事業者。</p> <p>・せとうちDMO^(注)は、古民家活用ビジネスのリーディングカンパニーである同社と平成28年10月に業務提携した。同時に(株)瀬戸内ブランドコーポレーション（瀬戸内の地銀7行が出資）は、同社に対し出資を行った。</p> <p>(注)せとうちDMOは、マーケティングプロモーションを実行する（一社）せとうち観光推進機構と、「せとうち観光活性化ファンド」を通じた資金支援等を行う(株)瀬戸内ブランドコーポレーションで構成。</p>
具体的な取組内容	<p>・当行は、平成23年に特定非営利活動法人ちいおりトラストが徳島県三好市に所有する古民家簾庵（ちいおり）の改装資金を融資した他、三好市の補助金の申請手続きのサポートを行った。同物件は古民家宿泊施設として稼働しており、現在では欧米を中心とする外国人が宿泊客の約4割を占め、当地のインバウンド観光客の重要な受け皿を担っている。</p> <p>また、同社は平成23年から三好市の「桃源郷祖谷の山里事業」2棟の受託を開始し、現在は8軒まで拡大して空き家の古民家を改修して宿泊施設として活用する事業を地元行政と連携して行っている。</p> <p>・当行は、平成28年より(株)瀬戸内ブランドコーポレーションと連携し、同社の古民家活用事業の瀬戸内地域への展開に向けてサポートを行っている。</p> <p>・平成28年11月の岡山県でのビジネス交流会、平成29年1月の徳島県での観光セミナーで、東洋文化研究家のアレックス・カー氏（ちいおりトラスト代表取締役）に「外国人の目線でとらえた瀬戸内・徳島の魅力」についてご講演いただき、地元観光事業者に対し瀬戸内の認知度とブランド力を高めるためのアドバイスをを行った。</p>
今後の課題	<p>・古民家の改修に加え、プラスアルファの付加価値をどう加えていくかが課題であり、瀬戸内ブランドコーポレーションを通じて、瀬戸内の他地域で古民家を改修したいと考えている事業者との連携を図り、地域全体での相乗効果を図っていく方針で取り組んでいる。</p>
関連公表資料等	<p>・瀬戸内ブランドコーポレーション「ちいおり×せとうちDMO 瀬戸内全域で古民家活用ビジネス支援を展開」(平成28年10月20日) http://setouchitourism.or.jp/ja/info/chiiori/</p> <p>・(株)ちいおりアライアンス http://www.chiiori.org/</p> <p>・徳島新聞ニュース「古民家の宿が新たに2棟 三好・落合集落、オール電化・ネット環境完備」(平成27年4月16日) http://www.topics.or.jp/localNews/news/2015/04/2015_14291603647784.html</p>

